

農業者の所得増大をめざして地元農産物をPR

農業者の所得増大をめざして、地産地消の促進をはじめ、地元野菜の消費拡大に当JAは全力で取り組んでおります。

その取組み事例として、当JA合併当初から続けているのが、年始めに地元産ナスをお渡しするプレゼント企画です。また、今年の1月は、水耕トマトの生産者と女性部、JAが一体となって、産直広場一色下方店で水耕トマトの特売会を開催するなど、店舗をご利用いただいた皆様に地元の農産物をPRいたしました。

今後も、地元農産物の販売促進につながる取組みを継続してまいります。

窓口で貯金をしていただいた方に地元産「千両ナス」をプレゼント

正月の縁起物「一富士、二鷹、三茄子」にかけて、年始めに支店窓口で貯金をしていただいた方に、地元産「千両ナス」の最も品質の良い「秀品」をプレゼントいたしました。当JAでは、この企画を通じて当JA管内がナスの産地であることもPRしました。



生産者の皆様がハウス栽培で丹精込めて育てられた色つやが良く大きさも揃った立派なナス

産直広場一色下方店で消費拡大をめざして特売会を開催



平和町園芸組合トマト部会の皆さん

↑女性部の方々にもご協力いただき、特売会に合わせてトマトの試食会を開催していただきました。

稲沢市平和町産「水耕トマト」をPR!



稲沢市平和町で栽培される水耕トマトの消費拡大を図ろうと、平和支店と産直広場一色下方店は1月10日、同産直広場でトマトの特売会を開催しました。特売会では、女性部の方々にもご協力いただき、来店された多くの皆様にトマトの試食を交えながら販売PRをいたしました。

平和支店では、水耕トマトを栽培する平和町園芸組合トマト部会の皆様と共に、昨年12月27日にJA愛知中央会が主催した記者会で、記者たちに産地のPR協力を依頼しました。

今後も、生産者や女性部の皆様と一体となって農業者の所得増大をめざしてまいります。

記者会で産地PRを依頼



自慢のトマトを記者会で披露

